

芸術家

たちの南仏

Rendez-vous dans le Midi



アンリ・マティス《ミモザ》  
1949年 切り紙絵(コラージュ) 151.3×93cm  
公益財団法人 池田20世紀美術館

開館時間=9:30-17:00(入館は16:30まで) 休館日=月曜  
入館料=一般1,800円、学生・65歳以上1,600円、高校生以下無料  
障害者手帳をお持ちの方と付き添い1名まで無料

主催=DIC株式会社 企画協力=株式会社キュレイターズ  
後援=千葉県、千葉県教育委員会、佐倉市、佐倉市教育委員会

DIC川村記念美術館  
Kawamura Memorial DIC Museum of Art



来た、  
見た、

出会った。

2023.3/11[土]—6/18[日]

もうひとつのアトリエ

パリから1,000km、

Rendez-vous  
dans le Midi

March 11 - June 18, 2023



パブロ・ピカソ《女のランプ》  
1955年 轆轤成形の花瓶 35×19.5cm  
Kanzan gallery  
©2022-Succession Pablo Picasso-BCF(JAPAN)

DIC川村記念美術館  
Kawamura Memorial DIC Museum of Art

Hours: 9:30-17:00 (last admission 16:30) Closed: Mondays  
Admission: Adults ¥1,800, College and university students ¥1,600, Seniors 65 and over ¥1,600  
Free admission for high school students and under, disability pass holders and one care-giver for each.  
Please present your ID at the entrance.

Organizer: DIC Corporation  
Planning Cooperation: Curators Inc. Art & Architecture  
In Association with Chiba Prefecture, Chiba Prefectural Board of Education, Sakura City, Sakura City Board of Education

芸術家  
たちの南仏

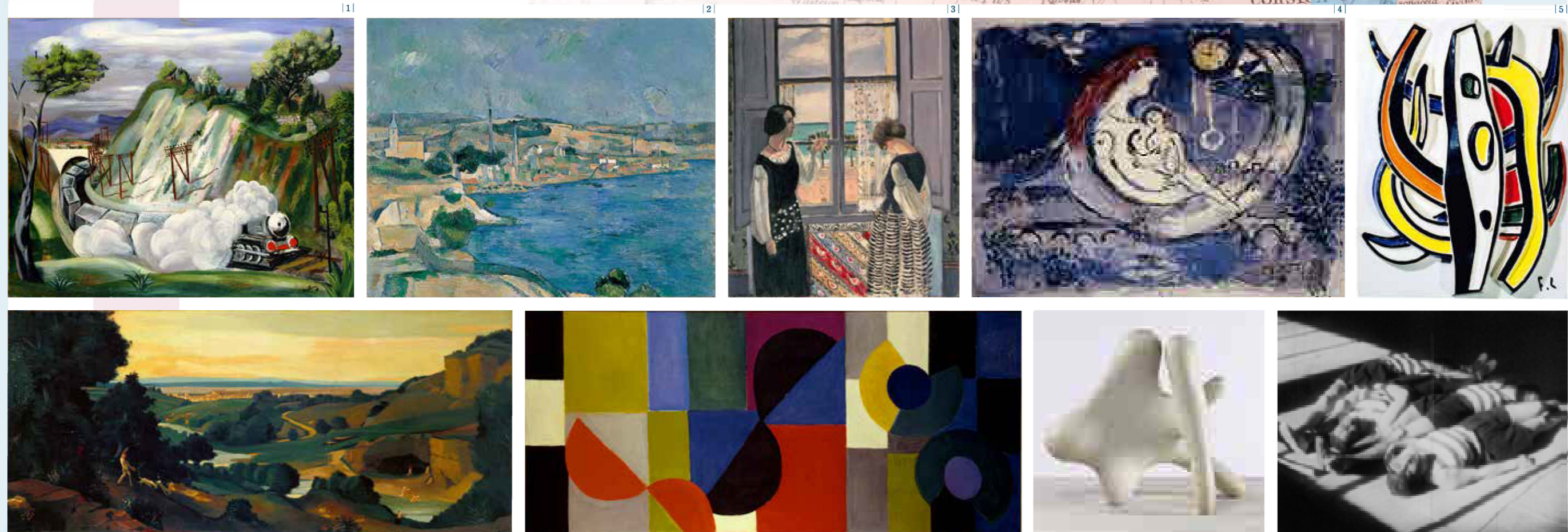
# 芸術家たちの南仏 *Rendez-vous dans le Midi*

南仏は、かつて芸術家が景勝地や巨匠たちの作品を求めてパリからイタリアへ留学や旅行をする際の中継地とみなされてきました。しかし19世紀末以降、ヴァンヌやニース、マルセイユをはじめ、多くの芸術家たちがその地を制作の場として選んだのです。

地中海や山々に囲まれた豊かな自然、そしてまばゆい光は芸術家たちを惹きつけ、ときには陶芸などその地に根差す伝統的な技法が創作意欲を刺激することもありました。終焉の地として根を下ろした者たちが、壁画や礼拝堂など集大成ともいえる大仕事を手がけたことも知られています。一方で、戦中には「敵性外国人」として収容された者たちや、港を目指した他国への亡命者が、作品を生み出した場であったことも忘れてはなりません。

本展では、20世紀において芸術が展開した場としての南仏に注目し、その地で広がりを見せた交流や、表現あるいは技法について、国内の美術館などが所蔵する約30作家の作品と関連資料およそ150点を通してご紹介します。

※会期中に一部展示替えがあります（前期：3/11-4/30 後期：5/2-6/18）



1| キスリング《風景、パリーニース間の汽車》1926年 油彩、カンヴァス 80.7×100.2cm ポーラ美術館 | 2| ポール・セザンヌ《マルセイユ湾、レスタック近郊のサンタンリ村を望む》1877-79年 油彩、カンヴァス 64.5×80.2cm 吉野石膏コレクション(山形美術館に寄託) | 3| アンリ・マティス《待つ》1921-22年 油彩、カンヴァス 61×50cm 愛知県美術館 | 4| マルク・シャガール《青い夜》1969年 タピスリー 206×270cm 川島織物文化館©ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2022, Chagall® G3077 | 5| フェルナン・レジェ《コンポジション》1952年 陶板レリーフ 44.4×34cm 公益財団法人大川美術館 | 6| アンドレ・ドラン《パノラマ(プロヴァンス風景)》1930年頃 油彩、カンヴァス 80×179cm 公益財団法人ひろしま美術館 | 7| ソニア・ドローネー《色彩のリズム》1953年 油彩、カンヴァス 100×220cm ふくやま美術館 DR | 8| ジャン・アルプ《地中海群像》1941/1965年 大理石 78.1×93.8×53.6cm 東京国立近代美術館 ©VG BILD-KUNST, Bonn & JASPAR, Tokyo, 2022 G3077 | 9| マン・レイ《餃子城の秘密》1929年 16mmフィルム 24分 神戸映画資料館 ©MAN RAY 2015 TRUST/ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2022 G3077

- Albert André
- Jean Arp
- Hans Bellmer
- Pierre Bonnard
- Victor Brauner
- André Breton
- Charles Camoin
- Paul Cézanne
- Marc Chagal
- Sonia Delaunay
- André Derain
- Óscar Domínguez
- Raoul Dufy
- Max Ernst
- Georges d'Espagnat
- Jacques Hérold
- Alfred Jarry
- Kisling
- Wifredo Lam
- Jacqueline Lamba
- Henri Lebasque
- Fernand Léger
- Auguste et Louis Lumière
- Alberto Magnelli
- Henri Manguin
- Man Ray
- Albert Marquet
- Henri Martin
- André Masson
- Henri Matisse
- Francis Picabia
- Pablo Picasso
- Sophie Taeuber-Arp
- Wols

## 会期中のイベント 詳細は決定次ウェブサイトでお知らせします

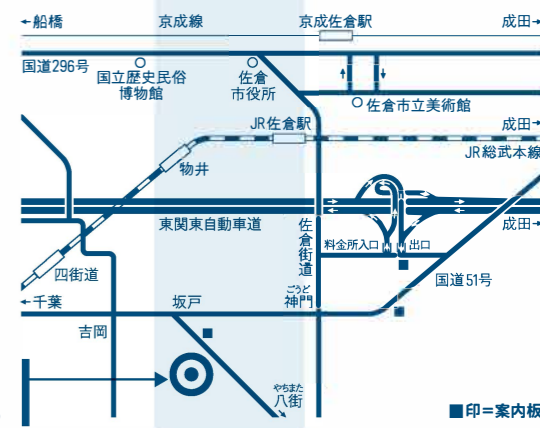
- 【定時ガイドツアー】**当日受付  
開館日の毎日14:00より当館ガイドスタッフが館内の展示をご案内します。  
定員制のため、参加当日に館内受付にてご予約ください。
- 【学芸員によるギャラリートーク】**要予約  
3月18日[土]、4月15日[土] 各回11:30より
- 【キュレーターズ・トーク】**要予約  
当館学芸員の中村萌恵が、本展巡回先各館の学芸員とともに会場をご案内します。  
5月20日[土] 鈴木一生氏(ふくやま美術館)  
6月10日[土] 藤原啓氏(宇都宮美術館)  
各回11:30より

- 【講演会】**要予約  
5月13日[土] 13:30-15:00  
鈴木理策氏(写真家、東京藝術大学美術学部先端芸術表現科教授)  
「知覚の感光板」について
- 【ミモザ・キャンペーン】**  
春の訪れを知らせる黄色い花をモチーフとしたマティスの切り紙絵《ミモザ》にちなみ、会期中はレストランと茶席で特別メニューをご用意します。
- 【ミモザ割】**  
3月中、ミモザイエローのお召し物でご来館の方は、入館券ご購入時にご本人様分の代金より200円引きいたします。窓口でスタッフにお申し出ください。

## 交通案内

- 自動車：東関東自動車道「佐倉IC」より、国道51号を千葉方面へ進み「坂戸」交差点を左折、国道22号線(八街横芝線)を八街方面へ約700m直進右手(約10分)、無料駐車場160台
- 東京駅から高速バスで：八重洲北口から徒歩5分、京成バス3番のりばから「マイタウン・ダイレクトバス」に乗車(約60分)  
【行き】東京駅9:55発→美術館11:02着  
【帰り】美術館15:29発→東京駅16:42着  
料金：大人片道1,360円  
問い合わせ先：ちばグリーンバス 043-481-0808  
運行時間などに変更が生じる可能性があります。  
最新情報は「ちばグリーンバス」へお問い合わせください。
- 東京駅からJRで：JR総武快速線の成田空港行きで「佐倉駅」下車(約60分)、南口の美術館バス停より無料送迎バス(約20分)
- 上野駅から京成電鉄で：京成本線特急または快特の成田方面行きで「京成佐倉駅」下車(約60分)、南口「シロタカメラ」前より無料送迎バス(約30分)

- 【送迎バス時刻表】**
- 京成佐倉駅→美術館  
8:50 | 9:10 | 9:50 | 10:20 | (10:50) | 11:20 | (11:50) | 12:20 (12:50) | 13:20 | (13:50) | 14:20 | (14:50) | 15:20 | 15:50
- JR佐倉駅→美術館  
9:00 | 9:20 | 10:00 | 10:30 | (11:00) | 11:30 | (12:00) | 12:30 (13:00) | 13:30 | (14:00) | 14:30 | (15:00) | 15:30 | 16:00
- 美術館→JR佐倉駅→京成佐倉駅  
10:50 | (11:20) | 11:50 | 12:45 歴 | (13:20) | 13:50 佐 | (14:20) | 14:50 | 15:20 | 15:50 | (16:20) | 16:45 | 17:15  
( )内は土・日・祝日のみ運行  
歴：国立歴史民俗博物館経由 佐：佐倉市立美術館経由  
※上記の館が休館の場合は経由しません。



ご来館前に当館ウェブサイトにて最新情報をご確認ください。  
感染症の流行等により、やむを得ず記載内容を変更する場合があります。  
<https://kawamura-museum.dic.co.jp>



**【次回企画展】**  
「ジョゼフ・アルバースの授業 ―色と素材の実験室」(仮称)  
2023年秋

DIC株式会社

**DIC川村記念美術館**  
千葉県佐倉市坂戸631 050-5541-8600(ハローダイヤル)

■印=案内板